

近畿農政局

デジタル消費者の部屋

◆テーマ

農業・農村のもつ役割と農業遺産

～農業・農村のもつ大切な役割と農業遺産について、パネル展示
によりご紹介します！～

◆展示期間

令和5年8月9日(水)～8月23日(水)

◆展示場所

京エコロジーセンター 1階「エントランスホール」

(R5.8.9～8.23 展示データ)

農業・農村のもつ役割と農業遺産

農業・農村は、私たちが生きていくのに必要な「食」を支えているだけでなく、洪水を防いだり、美しい風景をつくり、生きものを育てるなどのいろいろな役割を持っています。



また、そういった様々な役割を担ってきた伝統的な農業を「農業遺産」として認定する制度があり、近畿管内でも多くの地域が認定されています。

1. 農業・農村が持つ多面的機能

農村で農業が継続して行われることにより、私たちの生活に色々なめぐみをもたらしています。そのめぐみは農業者のみならず、都市住民を含めた国民全体に享受しています。



2. 多面的機能を維持・発揮するためには

多面的機能の恩恵を維持していくためには、農地や水路に絶えず手入れをしていくことが重要で、農業者だけでなく地域ぐるみの活動として取り組む必要があります。



水路、農地周辺の草刈



水路の土砂さらい



農道の補修

3. 農業遺産制度について

地域で継承されてきた伝統的な農林水産業と文化等を一体的に「農業遺産」として認定する制度です。認定地域では、概ね100年以上もの間、脈々と受け継がれてきた伝統的な方法で農業・林業・漁業を営んでいます。

(参考) 農業遺産と世界遺産、世界かんがい遺産の違い

	農業遺産	世界遺産	世界かんがい施設遺産
認定・登録機関	世界農業遺産:FAO(国連食糧農業機関) 日本農業遺産:農林水産省	UNESCO(国連科学教育文化機関)	ICID(国際かんがい排水委員会)
特徴	<ul style="list-style-type: none"> ●次世代に継承すべき伝統的な「無形の農林水産業システム」を認定。 ●農林水産業の営みそのものであり、社会的、経済的、生態学的な変化に適応しながら進化を続けている「生きていく遺産」。 	<ul style="list-style-type: none"> ●遺跡や歴史的建造物、自然など「有形の不動産」を登録、保護・保存するもの。 ●「手つかずの自然」、「当時あった形」のまま保存。 	<ul style="list-style-type: none"> ●建設から100年以上経過し、かんがいを主目的としたダムやため池、水路などの歴史的な施設を認定。 ●かんがい農業の画期的な発展、食料増産、農家の経済状況改善に資するもの、構想、設計、施工、規模などが当時としては先進的なもの、卓越した技術であったもの等。
種類	農業遺産には、FAOが認定している世界農業遺産と、日本独自で創設し農林水産省が認定している日本農業遺産があります。	世界遺産は、下記三つの種類があります。 1. 文化遺産 2. 自然遺産 3. 複合遺産	—

4. 世界農業遺産、日本農業遺産の認定基準

申請地域は、世界的な重要性又は我が国における重要性、申請地域の特徴(世界農業遺産は5つの基準、日本農業遺産は日本が独自に定めた3つの基準を加えた8つの認定基準)及び保全計画に基づき評価されます。



1 洪水が起きないようにする

～田畑に水を一時的にためることができる～



川沿いを歩いていると、大雨がふったときに、近くの川があふれてしまったことを思い出しました。



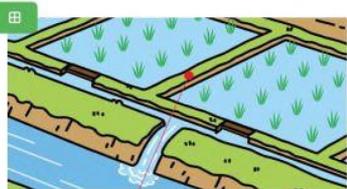
こんにちは



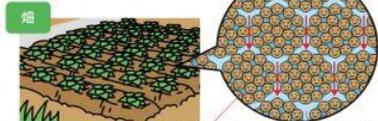
解説

田畑は、水を一時的にためることができます。

田は周りをあぜで囲まれているため、また畑は土のすき間が多いため、水をためることができます。このため、洪水を防ぐことにも、役立っています。



田はあぜで囲まれているので、水をためることができます。



小さなすき間には水がそのままだまります。大きなすき間では水が流れます。畑の土は、大きな団子の中に小さな団子がたくさん入っているような構造です。雨がふったとき、小さな団子のすき間に水がたまります。

2 川の流を安定させきれいな地下水をつくる

～田畑にためられた水は、川にもどったり地下水になる～



小さな橋をわたると、きれいな水がわき出ていました。



待ってたよ！

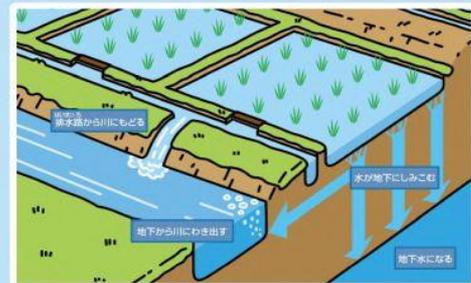


解説

田は、雨水を地下にしみこませて時間をかけて下流に流す働きがあります。

田にたまった水は、一部は排水路から川にもどります。また、一部はゆっくりと地下にしみこみ、地下水となったり川へわき出して、川の流を安定させる働きがあります。

畑も水をためることができるので、同じ働きがあります。



3 土砂くずれや土の流出を防ぐ

～耕された田畑は、土砂くずれや土の流出を防ぐ～



たなか 棚田(※)が見えてきました。大雨がふったとき、耕されていない田のある斜面で土砂くずれがあったことを思い出しました。

これは安全だよ!



田で米を作っているのは、土砂くずれを防ぐことと関係があるの?

ひびわれなどの早期発見と地下水が急に増えるのをおさえることで、土砂くずれを防いでいるよ。土の流出も防くん!

ドッグ消防士
土地の安全点検の専門家

(※)棚田 山の斜面を利用して階段状につくられた田。

日ごろの手入れが、大地を守ります



おぜんめり: 田の水のもれを防ぐために、くわなどの道具を使ってあぜに土をためて固める作業。



代かき: 土を細かくして水とまぜ合わせる作業。水の通り道となっているすき跡をうめる。

解説



ドッグ消防士

日ごろの手入れと耕すことで、土砂くずれを防いでいます。

田畑はこまめに手入れをすることで、ひびわれなどを早期に発見することができます。また耕すことで、田畑にためられた水はゆっくりと地下にしみこむようになるため、地下水が急に増えるのをおさえ、土砂くずれなどの災害を防ぐことにつながります。

作物を作っていると...

大雨がふっても、雨は田畑にたまり地下水が急に増えないため、土砂くずれが起きにくくなる。



長い間、作物を作っていないと...

大雨がふると、手入れをしていない田畑には水がたまり地下水が急に増えて、土砂くずれが起きやすくなる。



4 美しい風景をつくる

～農村独特の風景をつくる～



たなか 棚田のおくに、ヒマワリ畑も見えてきました。

きれいでしょ!



きれいな風景だね

この風景はどうやってできたんだろう?

農業を続けることでできるんだよ

りすこ
農村の自然の専門家

農村の美しい風景



岡山県笠岡市 岡山県笠岡市



岐阜県白川村 白川郷

解説



りすこ

農業の営みや家屋、里山が、美しい風景をつくっています。

農村では農業が営まれることによって、作物や農地、農家の家屋、周辺の水辺や里山が一体となって、美しい風景をつくっています。

あいのメモ帳 4

農村には、美しい風景がある

きれいな写真がとれたよ!

りすこ
兵庫県佐用町のヒマワリ畑



【まとめ】

農業を続けることで美しい風景ができる

4 かやぶき

・また行きたい! と思った

りすこからササをもらった。

5 伝統文化を守る

～お祭りや行事が受けつがれている～



さらに歩いていくと、笛の音が聞こえてきました。お祭りをやっているようです。



何のお祭りなんだろう？

お祭りには農業と深いかわりがあるものもあるんだ！

うさお 農村文化の専門家



豊作に感謝する

【秋穂祭】
三重県伊勢市桶部町



牛を使った代かきを伝える

【牛の追い込み】
岡山県新見市碧西町（鐘が堂道原まつり）

⑤ 伝統文化を守る
みんなの国をよめる

解説



農村では、歴史や文化を伝える行事、伝統芸能が受けつがれています。

農村には、農作物の豊作に感謝するお祭りや、農作業の安全をいける行事など多くの伝統的な文化があります。農業は、地域の伝統や文化を受けつぎ続けることに、大きな役わりを果たしています。



あおいのメモ帳 5

お祭りは豊作の
おいのりから始まった

こんなお祭りも
あったよ

石川県輪島市
あえのこと



【まとめ】

お祭りは豊作の感謝の心を伝えている



5 祈願

農村は古くからの伝統を守っている

うさおから
ササをもらった。

6 生きものを育てる

～いろいろな生きものがすむ場所になる～



鳴き声が聞こえてきたので田の中をのぞいてみました。田には、いろいろな生きものがいるようです。



水田にはどんな生きものがいるの？

トンボやカエルなどいろいろな昆虫や小動物がいるよ

カエル博士
生きもの専門家

解説



水田に集まる生きものたち

田がまわりの山や川、水路とつながることで、いろいろな生きものすみかとなり、豊かな生態系が保たれています。アメンボ、トンボ、タニシ、ホタル、メダカ、オタマジャクシ、カエル、ドジョウ、イモリ、ヘビ、ササなど

畑もつながっているよ



オタマジャクシ



アカハライモリ



シマヘビ



タガメ



ナツアカネ



シオカラトンボ



ヘイケボタル



ナゴヤダルマガエル



メダカ



マルタニシ・モノアラガイ



トキ

せ かい の う ぎ よ う い さ ん

世界農業遺産

Globally Important Agricultural Heritage Systems

近畿管内初

世界・日本農業遺産W認定



早朝、朝もやの中で漁獲を待つ伝統的なエリ

森・里・湖に育まれる

漁業と農業が織りなす琵琶湖システム（滋賀県琵琶湖地域）

水田営農と深い関わりのなかで発展してきた伝統的な琵琶湖漁業がその中心。

“里湖”とも呼ばれる循環型システムで、千年の歴史を有するエリ漁や独特の

食文化が継承されている。



森・里・湖に育まれる 漁業と農業が織りなす
琵琶湖のシステム

世界農業遺産は、社会や環境に適応しながら何世代にもわたり発達し、形づくられた伝統的な農林水産業とそれに関わって育まれた文化、景観、生物多様性などが一体となった世界的に重要な農林水産業システムを国連食料農業機関(FAO)が認定する仕組みです。

本県では、水田営農に支えられながら発展してきた伝統的漁業を核とした「琵琶湖と共生する農林水産業」を「森・里・湖(うみ)に育まれる 漁業と農業が織りなす琵琶湖システム」と呼んでおり、令和4年7月18日にFAOから「世界農業遺産」に認定されました。

漁業 伝統的な琵琶湖漁業

千年以上の歴史を持つエリ漁は、魚の習性を利用し、「つま」と呼ばれる部分で漁獲します。必要なサイズ・量だけを漁獲できる持続可能な漁法として、現代に受け継がれています。



琵琶湖のエリ(定置網)と湖岸に広がる水田

農業 環境に配慮した農業

琵琶湖の水質や生態系を守るため、排水を管理し農業や化学肥料を減らす「環境こだわり農業」やオーガニック農業、琵琶湖から田んぼに遡上して産卵する湖魚を支える「魚のゆりかご水田」などが営まれています。



魚のゆりかご水田



琵琶湖から田んぼに遡上して産卵する湖魚を支える「魚のゆりかご水田」



琵琶湖八珍



水源林保全活動



すし切り神事



耐ずし

林業 水源林の保全

水源林の保全には、漁業者や地域住民も参画しています。山に木を植えて育てることが洪水や漏水を防ぐことに役立っているほか、川によって産卵する湖魚の繁殖環境の保全にもつながっています。

食文化 伝統的な食文化とお祭り

「耐ずし」に代表される湖魚をご飯に漬け込んで発酵させる保存食「なれずし」は、贈り物や祭礼のお供えにも使われてきました。こうした食文化や祭礼は、地域の絆の醸成にもつながっています。

琵琶湖と共生する滋賀の農林水産業は、国連の定めた持続可能な開発目標(SDGs)の17の目標の達成に寄与しており、特に「6 安全な水を世界に」、「14 水産資源の保全」、「15 陸域生態系の保全」、「17 パートナースHIPで目標を到達しよう」などの達成にも貢献しています。また、琵琶湖版SDGsであるマザーレイクゴールズ(MLGs)にも、大いに貢献しています。



せ かい の う ぎ よ う い さ ん

世界農業遺産

Globally Important Agricultural Heritage Systems



まんかい いしがみばいりん
満開の石神梅林

みなべ・田辺の梅システム
(和歌山県みなべ・田辺地域)

養分に乏しい斜面の梅林周辺に薪炭林を残し、水源かん養や崩落防止、薪炭林を活用した紀州備長炭の生産と、ミツバチを受粉に利用した梅栽培。

世界農業遺産「みなべ・田辺の梅システム」

未来につながる梅づくり

「みなべ・田辺の梅システム」のしくみを知ろう!



みなべ・田辺地域世界農業遺産推進協議会

「みなべ・田辺の梅システム」のホームページはこちら→



世界農業遺産

Globally Important Agricultural Heritage Systems

令和5年7月5日

世界・日本農業遺産W認定



たじまうし ほうぼくふうけい
但馬牛の放牧風景

人と牛が共生する美方地域の伝統的但馬牛飼育システム
(兵庫県兵庫美方地域)

但馬牛の子牛の生産地として、日本初の牛の血統登録「牛籍簿」を整備し、和牛改良の先駆けとなりました。棚田や草原の草の給餌等により農村環境や生物多様性を保全する持続可能なシステムが継承されています。

近畿管内における農業遺産の認定地域

【世界農業遺産】 24ヶ国78地域、日本15地域、近畿管内3地域

【日本農業遺産】 24地域、近畿管内7地域

世界農業遺産 (R505R) 日本 (H308R)

兵庫美方地域

人と牛が共生する美方地域の伝統的但馬牛飼育システム

日本農業遺産 (R248R)

丹波篠山地域

丹波篠山の黒大豆栽培
～ムラを支える優良種子と家族農業～

世界農業遺産 (R448R) 日本 (H308R)

琵琶湖地域

森・里・湖(うみ)に育まれる漁業と農業が織りなす琵琶湖システム

日本農業遺産 (R248R)

南あわじ地域

南あわじにおける水稲・たまねぎ・畜産の生産循環システム



日本農業遺産 (R248R)

高野・花園・清水地域

聖地 高野山と有田川上流域を結ぶ持続的農林業システム

日本農業遺産 (R248R)

有田地域

みかん栽培の礎を築いた有田みかんシステム

日本農業遺産 (H308R)

海南市下津地域

下津産出しみかんシステム

世界農業遺産 (H2745R)

みなべ・田辺地域

みなべ・田辺の梅システム

令和5年7月5日 世界農業遺産認定

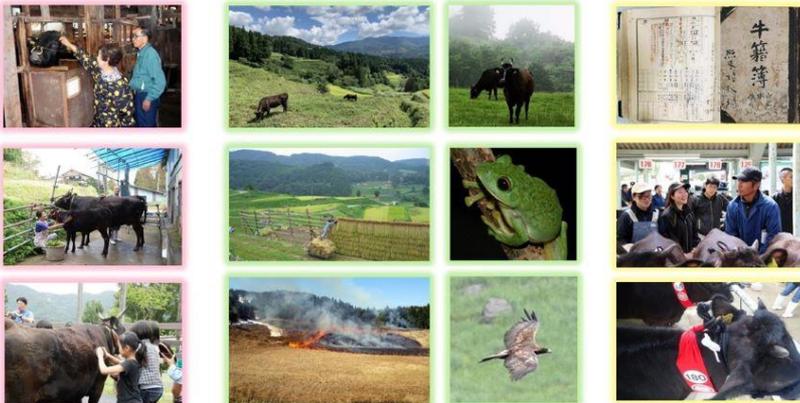
「人と牛が共生する美方地域の伝統的但馬牛飼育システム」

兵庫美方地域



但馬牛は「神戸牛」の素牛(もとうし)として知られる和牛で、美方地域は古くから高品質な但馬牛の子牛の生産地域として知られ、日本初の牛の血統登録「牛籍簿」(ぎゅうせきぼ)を整備し和牛改良の先駆けとなりました。
美方郡産但馬牛は、郡内産にこだわった改良により独自の遺伝資源が保全され、全国の黒毛和種の遺伝的多様性の維持に大きな役割を果たしています。

但馬牛の草原への放牧や棚田の畔草の給餌を行うことで農村環境や多様な生物資源を保全するとともに、牛ふん堆肥を田畑に還元することにより地域資源を循環利用する持続可能なシステムが継承されています。



に ほ ん の う ん ぎ よ う い さ ん
日本農業遺産
Japanese Nationally Important Agricultural Heritage Systems



くろだいずさいばい ふうけい
黒大豆栽培の風景

たんばさきやま くろだいずさいばい ささ ゆうりょうしゅし かぞくのうきよう
丹波篠山の黒大豆栽培～ムラが支える優良種子と家族農業～
ひょうごけんたんばさきやまちいき
(兵庫県丹波篠山地域)

みずぶそく こくふく いなさく ぎせいでん もう くろだいず さいばい かのう
水不足を克服するために稲作をしない犠牲田を設け、黒大豆の栽培を可能にする
かんでんたかうねさいばいぎじゆつ う だ やく ねんまゑ けいしやう のうきよう
「乾田高畝栽培技術」を生み出した約300年前から継承される農業。

に ほ ん の う ぎ よ う い さ ん

日本農業遺産

Japanese Nationally Important Agricultural Heritage Systems



すいとう ごや ふうけい
水稻とたまねぎ小屋の風景

みなみ すいとう ちくさん せいさんじゆんかん
南あわじにおける水稻・たまねぎ・畜産の生産循環システム
(兵庫県南あわじ地域)

のうち すく みず めぐ しま かんきょう はったつ こうりつてき みずり
農地が少なく、水に恵まれない「島という環境」で発達してきた効率的な水利
よう こうしゆのうか ちくさんのうか かくかいそう しょうきぼしゅうらくない ほかんかんけい こうちく しげん
用や、耕種農家と畜産農家の各階層が小規模集落内で補完関係を構築して資源
じゆんかんかたのうぎよう おこな どりくそうてき でんとうてき ちしき
循環型農業を行う、独創的で伝統的な知識システム。

に ほ ん の う ぎ よ う い さ ん

日本農業遺産

Japanese Nationally Important Agricultural Heritage Systems



かいだんえん さいばい ふうけい
階段園でのみかん栽培の風景

さいばい いしげ さいず ありだ
みかん栽培の礎を築いた有田みかんシステム
(和歌山県有田地域)

さいばい にほん はじ せいけい しゆだん はったつ のうか なえ
みかん栽培を日本で初めて生計の手段に発達させるとともに、みかん農家・苗
ぎのうか しゅつかそしき れんけい さんちぜんたい にほんいち ありだ さんち けいせい
木農家・出荷組織が連携し、産地全体で日本一の「有田みかん」産地を形成・
いじ ちいききょうどう
維持してきた地域共同のシステム。

に ほ ん の う ん ぎ よ う い さ ん
日本農業遺産

Japanese Nationally Important Agricultural Heritage Systems



けいしゃち ひろ ばたけ
 傾斜地に広がるみかん畑

しもづくらだ
下津蔵出しみかんシステム
 わかやまけんかいなんししもづちいき
 (和歌山県海南市下津地域)

えんない せっち つちかべ くら じゅくせい くらだ ぎじゅつ う だ けいしやう
 園内に設置した土壁の蔵でみかんを熟成させる「蔵出し技術」を生み出し継承
 している。しもづち地域はみかん発祥の地といわれ、ミカンに関連した独特の文化
 を形成している。

に ほ ん の う ん ぎ よ う い さ ん
日本農業遺産

Japanese Nationally Important Agricultural Heritage Systems



こうやさん しんこう はいけい きず のうりんぎやう
 「高野山への信仰」を背景に築かれた農林業システム

せいち こうやさん ありがたねじやうりゆういき むす じぞくてきのうりんぎやう
聖地 高野山と有田川上流域を結ぶ持続的農林業システム
 わかやまけんこうや はなぞの しみずちいき
 (和歌山県高野・花園・清水地域)

ぶつしちやうたつ こんなん さんじやう せいちこうやさん ささ こうやさん むす
 物資調達が困難な山上の聖地高野山を支えるとともに、高野山との結びつきの
 なかへいちすくのこのくはってん
 中で平地の少なさを乗り越え、暮らしを發展させてきた持続的農林業システム。



農業・農村は、私たちが生きていくのに必要な「食」を支えているだけでなく、洪水を防いだり、美しい風景をつくったり、生きものを育てるなどのいろいろな役割を持っています。

また、そういった様々な役割を担ってきた伝統的な農業を「農業遺産」として認定する制度があり、近畿管内でも多くの地域が認定されています。

今回の「消費者の部屋」展示では、農業・農村のもつ大切な役割と農業遺産について、パネル展示によりご紹介します。

近畿中国森林管理局での展示

期間：令和5年8月7日(月)～9月4日(月)9時～17時

●土・日・祝を除きます。初日は13時から、最終日は正午までとなります。

場所：近畿中国森林管理局 1階 森林(もり)のギャラリー

大阪市北区天満橋1丁目8番75号

●JR大阪環状線「桜ノ宮」駅下車 西出口から徒歩約5分

京エコロジーセンターでの展示

期間：令和5年8月9日(水)～23日(水)9時～17時

●木曜日は除きます。初日は13時から、最終日は正午までとなります。

場所：京エコロジーセンター 1階エントランスホール

京都市伏見区深草池ノ内町13

●京阪「藤森」駅下車 西へ徒歩約5分

市バス「青少年科学センター前」下車 南へ徒歩約2分

【お問合せ先】

農林水産省 近畿農政局

消費・安全部消費生活課（消費者の部屋については）
担当：消費経済係 電話：075-414-9771（直通）

農村振興部農村環境課（展示内容については）
担当：環境保全官 電話：075-414-9052（直通）

農林水産省
近畿農政局

